



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,548	△3.7	865	△19.0	962	△16.1	673	△12.0
28年3月期第3四半期	16,140	△1.4	1,067	24.7	1,146	25.1	765	28.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	96.97	—
28年3月期第3四半期	110.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	21,047	18,045	85.7	2,596.98
28年3月期	20,455	17,463	85.4	2,513.18

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 18,045百万円 28年3月期 17,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	2.1	1,350	1.7	1,450	2.1	950	0.8	136.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	8,832,311 株	28年3月期	8,832,311 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	1,883,542 株	28年3月期	1,883,517 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,948,779 株	28年3月期3Q	6,948,939 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が緩やかに続きましたが、為替では20円近くの幅で急速な値動きがあり、さらに、欧州におけるブレグジット問題など今後の世界経済に大きな影響を与えるようなイベントが多く発生したことにより、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第3四半期累計期間の売上高は15,548百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は865百万円（前年同期比19.0%減）、経常利益は962百万円（前年同期比16.1%減）、四半期純利益は673百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は2,854百万円（前年同期比0.7%増）と伸びましたが、セグメント利益は253百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は3,455百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益は98百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

チルド食品部門は、焼そば、生ラーメンの受託が好調でしたが、ゆで麺のアイテムが低調に推移し、売上高は2,409百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は244百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

即席麺部門は、受託が低調に推移し、売上高は5,508百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は246百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

その他は、水産物の取扱いが前年並みとなり、売上高は1,320百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は21百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期会計期間末における資産の部は21,047百万円となり、前事業年度末と比べ591百万円増加しました。これは主に、流動資産において関係会社短期貸付金が2,000百万円、売掛金が250百万円増加し、現金及び預金が1,897百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,001百万円となり、前事業年度末と比べ9百万円増加しました。これは主に、その他の流動負債が175百万円、買掛金が160百万円が増加し、未払法人税等が305百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は18,045百万円となり、前事業年度末と比べ582百万円増加しました。これは、利益剰余金が395百万円、その他有価証券評価差額金が186百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,925	6,027
売掛金	2,050	2,301
商品及び製品	389	389
仕掛品	25	17
原材料及び貯蔵品	232	302
関係会社短期貸付金	3,500	5,500
その他	129	77
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	14,247	14,608
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,866	1,787
機械及び装置(純額)	1,272	1,112
その他(純額)	1,107	1,339
有形固定資産合計	4,246	4,240
無形固定資産	44	36
投資その他の資産	1,917	2,162
固定資産合計	6,208	6,439
資産合計	20,455	21,047
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,394	1,554
未払法人税等	331	26
賞与引当金	179	66
役員賞与引当金	17	12
その他	462	637
流動負債合計	2,383	2,297
固定負債		
繰延税金負債	-	51
退職給付引当金	547	622
役員退職慰労引当金	60	30
固定負債合計	608	704
負債合計	2,992	3,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	18,213	18,609
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,078	17,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	384	571
評価・換算差額等合計	384	571
純資産合計	17,463	18,045
負債純資産合計	20,455	21,047

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,140	15,548
売上原価	14,316	13,890
売上総利益	1,823	1,658
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	221	225
賞与引当金繰入額	8	9
役員賞与引当金繰入額	12	12
退職給付費用	20	24
役員退職慰労引当金繰入額	5	3
貸倒引当金繰入額	0	2
その他	487	515
販売費及び一般管理費合計	756	793
営業利益	1,067	865
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	38	46
受取保険金	—	20
雑収入	31	40
営業外収益合計	84	124
営業外費用		
賃貸費用	5	5
たな卸資産廃棄損	—	22
雑支出	0	0
営業外費用合計	5	27
経常利益	1,146	962
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	6
特別損失合計	0	6
税引前四半期純利益	1,146	956
法人税、住民税及び事業税	367	256
法人税等調整額	12	26
法人税等合計	380	282
四半期純利益	765	673

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,835	3,625	2,471	5,891	14,823	1,316	16,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,835	3,625	2,471	5,891	14,823	1,316	16,140
セグメント利益	359	133	214	335	1,043	24	1,067

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,854	3,455	2,409	5,508	14,228	1,320	15,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,854	3,455	2,409	5,508	14,228	1,320	15,548
セグメント利益	253	98	244	246	843	21	865

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。